

三条商工会議所景況調査概況

【令和6年1月～3月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和6年3月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 326 商工会議所が 2,455 企業にヒアリング。回答数 1,900 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 226 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

3月の全産業合計の業況DIは、▲12.9（前月比±0.0ポイント）

建設業は、住宅関連を中心に民間工事の不振が続き、悪化した。小売業は、物価高による消費者の買い控えの継続が重荷となり、悪化に転じた。一方、サービス業は、人手不足は継続するものの、国内外の観光需要増の恩恵を受けた飲食・宿泊業が下支えし、ほぼ横ばいとなった。製造業は、飲食品関係の需要増のほか、自動車関係も堅調に推移し、改善となり、卸売業も、製造業にけん引され、改善した。

日経平均株価の最高値更新等、景気回復の兆しが見える一方、物価の高止まりや円安基調等によるコスト増が継続している。また、人手不足による受注機会の損失やコスト増に見合う価格転嫁もできておらず、業況は足踏みとなった。

先行き見通しDIは、▲12.2（今月比+0.7ポイント）

新年度の歓送迎会や企業の新たな設備投資需要の増加等による国内需要の拡大、政府の令和6年度事業による経済活性化等、改善への期待感がうかがえる。

一方、物流費の高騰や人材確保に向けた賃上げ等、企業負担は増加が継続している。加えて、人材確保や生産性向上、労務費を含む価格転嫁など、対応すべき課題が多く、先行きは力強さを欠いている。

全国の3月産業別業況

【建設業】

「来月から働き方改革関連法が施行されるが、自社の技術者のみならず、下請けや協力会社でも専門人材が不足している。受注機会の損失につながる可能性があるため、人材確保に向けて賃上げを実施。採用をすることができたが、大手企業との賃金格差により離職されないか、不安が拭えない」（建築工事業）、「資材価格やエネルギー価格の高止まりで負担が多い中、公共工事の入札加点制度に賃上げがあるため、賃上げをせざるを得ない状況である」（一般工事業）

【製造業】

「売上は改善しているが、受注から販売までの間に輸入部材等が値上がりしており、価格転嫁が追い付かず、収益を圧迫している」（自動車・付属品製造業）、「売上は安定しているが、コスト増で業況は足踏み状態である。今後も人手不足や物流問題、円安の伸長による仕入価格の高騰など、不安要素は多いが、生産性向上等を図り、利益を確保していきたい。まさに正念場だと感じている」（パン・菓子製造業）

【卸売業】

「売上は安定しているが、青果物は鮮度が重要なため、来月からの物流 2024 年問題が売上や採算にどの程度影響するか不安である」（農畜産水産物卸売業）、「受注数は堅調に推移しており、新年度を見据えてさらなる需要増に期待している。一方、輸送費や包装資材などの高止まりによるコスト増で収益圧迫は継続しているため、利益確保に向けて価格転嫁を進めていく」（一般機械器具卸売業）

【小売業】

「物価高騰の影響で消費者の購買意欲は停滞しており、購入点数は必要最低限に留まる顧客が多い。取扱商品が生活必需品でないものの、多種多様の在庫を用意する必要があり、売上・採算ともに悪く、従業員の雇用も難しい状況である」（がん具・娯楽用品小売業）、「新年度に向けて学生服等の需要はあったものの、運送費や電気代等の高騰でコストは増加しており、採算は芳しくない」（衣服・日用品小売業）

【サービス業】

「インバウンド需要の増加に伴い、宿泊客は増加傾向にある。一方、今後もインバウンド・国内観光需要が増え続けると新たなホテルの開業が想定され、価格競争に陥らないか危惧している」（宿泊業）、「年度末のため、団体での歓送迎会の予約も着実に増加している。このままの流れを維持していきたい」（飲食店）

【令和 6 年 1 月～3 月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp/category/survey/>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 4 年度第 4 四半期(R5 年 1～3 月)比(以後 前年同期比という)では▲31 (前期差 7 ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲7 (前期差 24 ポイント増)、製造業が▲38 (前期差 15 ポイント減)、卸売業が▲57 (前期差 15 ポイント減)、小売業が▲29 (前期差 1 ポイント減)、サービス業が▲3 (前期差 3 ポイント減)となった。前回調査に比べ、建設業は DI 値が回復したが、製造業、卸売業、小売業、サービス業は DI 値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲7 (前期差 24 ポイント増)、採算 DI は▲30 (前期差 4 ポイント減)、売上額 DI は▲18 (前期差 4 ポイント減)、従業員 DI は±0 (前期差 11 ポイント減)となり、業況 DI は増加したが、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲38 (前期差 15 ポイント減)、採算 DI は▲38 (前期差 19 ポイント減)、売上額 DI は▲39 (前期差 15 ポイント減)、従業員 DI は▲12 (前期差 18 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲57 (前期差 15 ポイント減)、採算 DI は▲49 (前期差 25 ポイント減)、売上額 DI は▲49 (前期差 16 ポイント減)、従業員 DI は▲5 (前期差 7 ポイント増)となり、従業員 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は減少で推移した。

【小売業】

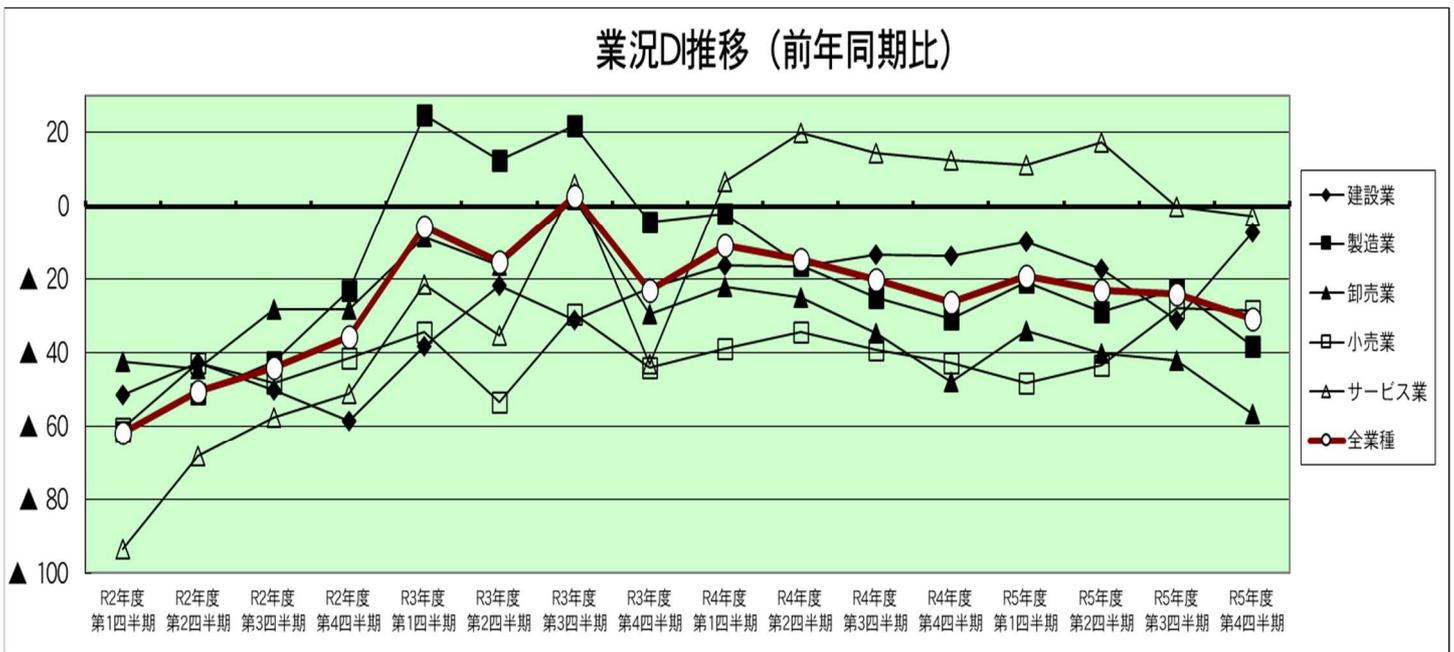
小売業では、前年同期比の業況 DI は▲29 (前期差 1 ポイント減)、採算 DI は▲14 (前期差 6 ポイント増)、売上額 DI は▲14 (前期差 2 ポイント増)、従業員 DI は▲4 (前期差±0 ポイント)となり、採算 DI、売上額 DI は増加し、業況 DI は減少、従業員 DI は横ばいで推移した。

【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は▲3 (前期差 3 ポイント減)、採算 DI は±0 (前期差 14 ポイント増)、売上額 DI は▲3 (前期差 2 ポイント増)、従業員 DI は▲8 (前期差 8 ポイント減)となり、採算 DI、売上額 DI は増加したが、業況 DI、従業員 DI は減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R2年度				R3年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全業種	▲ 62	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23
建設業	▲ 52	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22
製造業	▲ 61	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25	12	22	▲ 4
卸売業	▲ 42	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29
小売業	▲ 61	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44
サービス業	▲ 93	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43
	R4年度				R5年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全業種	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31
建設業	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7
製造業	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38
卸売業	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57
小売業	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29
サービス業	7	20	14	13	11	18	0	▲ 3

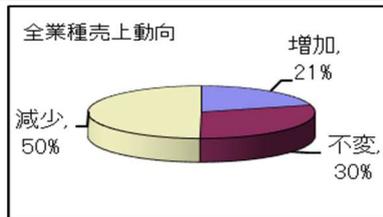


令和5年度 第4四半期(2024年1月～3月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

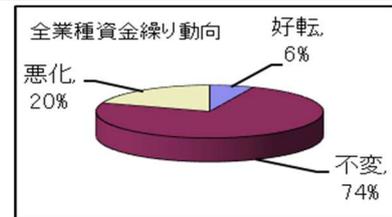
業種別売上動向 (前年同期比)

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	47	67	113
	%	21%	30%	50%
建設業	件数	6	11	11
	%	21%	39%	39%
製造業	件数	17	18	50
	%	20%	21%	59%
卸売業	件数	5	14	28
	%	11%	30%	60%
小売業	件数	6	12	10
	%	21%	43%	36%
サービス業	件数	13	12	14
	%	33%	31%	36%



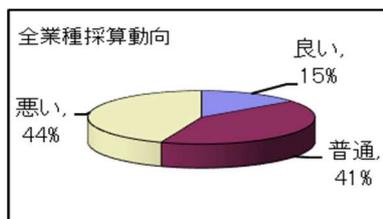
業種別資金繰り動向 (前年同期比)

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	14	165	44
	%	6%	74%	20%
建設業	件数	2	20	5
	%	7%	74%	19%
製造業	件数	4	63	18
	%	5%	74%	21%
卸売業	件数	0	38	8
	%	0%	83%	17%
小売業	件数	3	18	7
	%	11%	64%	25%
サービス業	件数	5	26	6
	%	14%	70%	16%



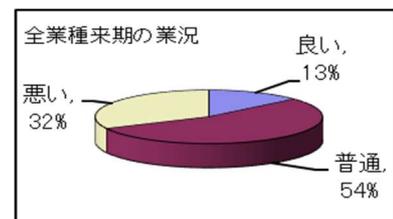
業種別採算動向 (前年同期比)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	33	93	100
	%	15%	41%	44%
建設業	件数	2	15	10
	%	7%	56%	37%
製造業	件数	12	29	44
	%	14%	34%	52%
卸売業	件数	3	18	26
	%	6%	38%	55%
小売業	件数	4	16	8
	%	14%	57%	29%
サービス業	件数	12	15	12
	%	31%	38%	31%



業種別来期(2024.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	25	101	60
	%	13%	54%	32%
建設業	件数	2	14	7
	%	9%	61%	30%
製造業	件数	11	36	25
	%	15%	50%	35%
卸売業	件数	6	19	14
	%	15%	49%	36%
小売業	件数	1	13	5
	%	5%	68%	26%
サービス業	件数	5	19	9
	%	15%	58%	27%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>